

事業名

4 団体協働事業 ふれあい集会（年忘れ交流会）

《和田地区子ども会、食生活改善推進協議会、まごころ福祉協議会、まちづくりセンター協働事業》

P

●事業実施に至った背景、目的

4月に戸川地区の鮎を地域で守る活動として、子ども会と一緒に鮎の放流を実施している。しかし、毎年鮎を放流して終りになっているため、ふれあい集会のなかで、自分達が放流した鮎で鮎めしを作り食育活動として、「命をいただく」大切さを子ども達と学びたいと考えた。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打合せ等)

6月中旬 地域の方に鮎60尾を捕っていただけるか相談。

6月下旬 4団体の代表者と食作り体験の目当てを共有。

D

●事業の概要

- ・令和7年12月7日（日）に予定していた「4団体協働事業 ふれあい集会」は、小学校がインフルエンザによる学級閉鎖となり中止。
- ・令和7年12月21日（日）、和田地区まちづくり推進委員会主催の年忘れ交流会での鮎めし作りを企画し、子ども会、食生活改善推進協議会、まごころ福祉協議会に声をかけを行い、多くの参加者に集まっていた。
- ・子ども達が作った鮎めしのおにぎりを地域の方に配り会話をすることで、食育活動を通じた世代を超えた交流により、顔の見える地域づくりにつながった。

C

●事業実施後の振り返り

- ・49名が参加した年忘れ交流会と一緒に実施したことで、親子活動だけではなく、幅広い年齢層で親睦を深めることができた。
- ・子ども達が積極的に食育活動に取り組み、鮎を丁寧に無駄なくほぐす姿が見られた。毎日の食事に感謝の気持ちを持ち、食べ物を粗末にしないなど、食への関心や意識を高めてほしい。

A

●今後の方向性

- ・今後も鮎を守るために、環境への意識やゴミを減らす活動など地域資源に関心を持つ取組を考える。
- ・まちづくり活動の参加が少ない子育て世代や女性の参加を促進するため、まちづくりセンターが地域の拠点となり魅力的な地域づくりを進めていきたい。

